

1 題材名 音楽の情景を想像して聴こう

2 目標

- 標題音楽の多様な音表現に興味をもち、情景をイメージしながらオーケストラの楽器や音色などについて関心をもって学習に取り組む。(音楽への関心・意欲・態度)
- 楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの要素の特徴やその要素が絡み合いながら生まれる曲想の変化を感じ取って、標題音楽の多様な音楽表現のよさや美しさを味わって聴く。(鑑賞の能力)

3 指導にあたって

(1) 生徒の実態

本学級の生徒はオーケストラや弦楽曲などの演奏の鑑賞を2年次までに行っている。また、情景を思い浮かべながら楽曲を聴くことも経験している。しかし、作曲者が情景を表現するために行った音楽的な工夫や、特徴づけている要素などを考え聴くといった学習はまだ行っていないため、これからの学習によるところである。

(2) 教材観

本題材は、学習指導要領第2学年及び3学年の内容Bから(1)ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」、イ「音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して鑑賞すること」を受けて設定したものである。

オーケストラは弦楽器・管楽器・打楽器から編成されるアンサンブルである。各楽器の個性が味わえるとともに、楽器の組み合わせによって多彩な響きを楽しむことができる。また、西洋の文化・歴史や他の芸術とも密接な関係があり、その作品には深い意味をもち、知的なおもしろさをもつものも多い。今回は多様な音楽の1つとして、生徒に音楽文化についての理解を深めさせる機会にしたいと考え本題材を設定した。

(3) 指導観

今回取り扱う「ブルタバ」は、6つの曲からなる連作交響詩「我が祖国」の第2曲目に当たる。「ブルタバ」には作曲者によって7つの標題がつけられており、それぞれの部分はブルタバ川の流れや、人々の生活の様子がオーケストラで表情豊かに描かれている。まずは、音楽から情景を自由に想像させることで、音楽をイメージすることの楽しさを味わわせたい。次に標題を取り出して聴き、「音色」を含めた音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを理解して言葉で表現させる。自分にとっての価値をもつと同時に、友達の感じ方や考え方を参考にすることで、共有できるようにしたい。

4 指導計画(3時間扱い)○は本時

時	学習内容	評価規準	
		関心・意欲・態度	鑑賞の能力
①	○「ブルタバ」の標題を取り出して聴き、諸要素を関連させながら、それぞれの雰囲気や曲想を感じ取る。	標題音楽の多様な音表現に興味をもち、情景をイメージしながら意欲的に聴こうとしている。	音楽から表現されている情景を、自分なりに想像し、根拠をもって批評している。
2	○「ブルタバ」の標題を取り出して聴き、諸要素を関連させながら、自分が感じ取った雰囲気や曲想を他者と話し合う。	音楽の諸要素を手がかりに、意欲的に話し合いをしようとしている。	標題音楽の多様な音表現に興味をもち、情景をイメージしながら根拠をもって意見を述べている。
3	○根拠をもって批評し、音楽のよさや美しさを味わう。		「ブルタバ」が作曲された当時の歴史的背景を知り、スメタナへの理解を深め、楽曲の紹介文を書いている。

5 教材について

- ・「ブルタバ(モルダウ)」(連作交響詩「我が祖国」から) スメタナ作曲

6 本時の展開

(1) 目標

「ブルタバ」の標題を取り出して聴き、諸要素を関連させながら、音楽が表現している情景を自分なりに想像し、その理由を考える。

(2) 学び合い活動のための工夫

標題に関連した写真を選び、選択した理由を他者に発表し、音楽の多様な感じ方に気づく。

(3) 準備・資料

中学生の音楽2・3下、CD、ワークシート、標題を表す写真

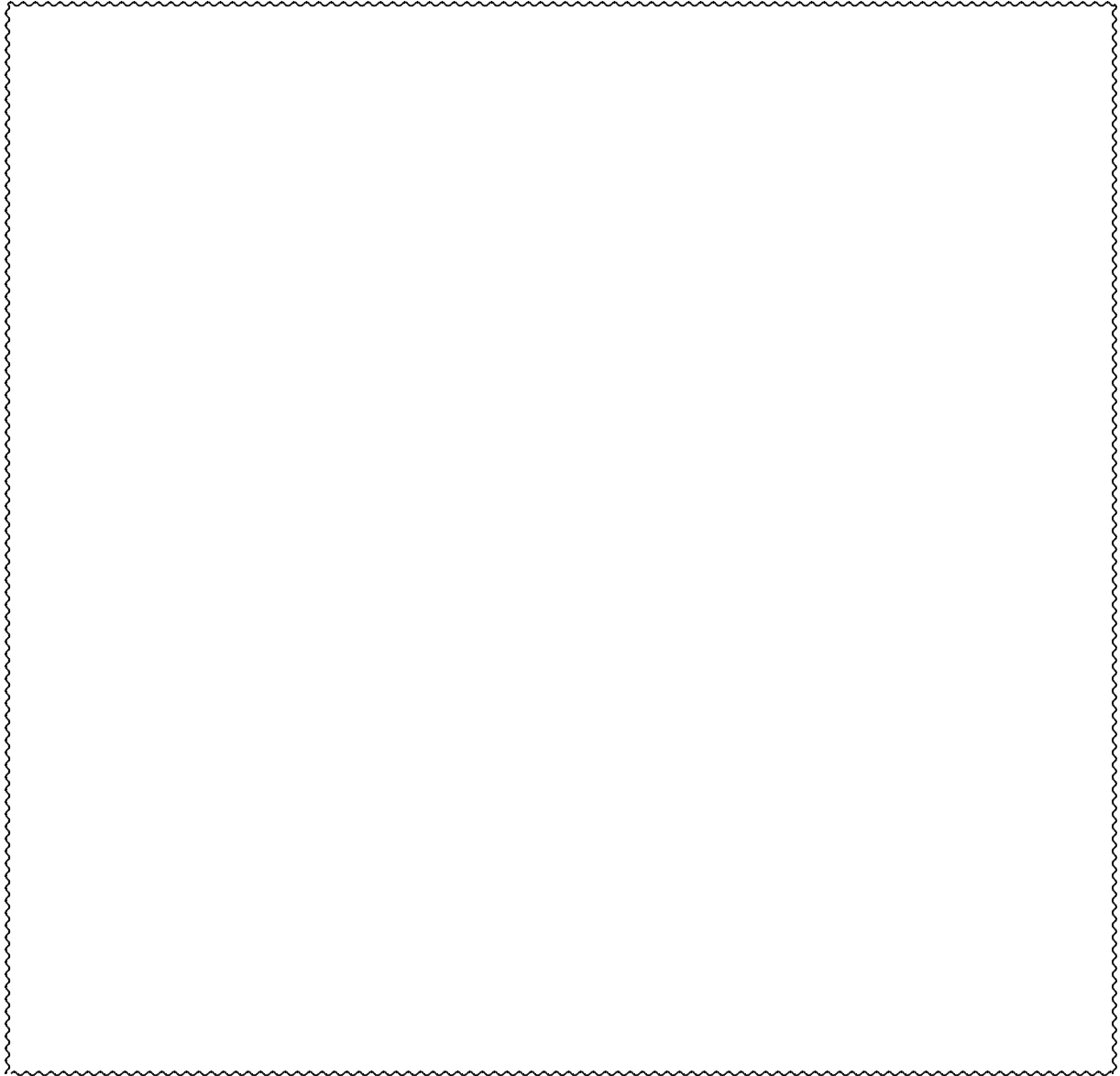
(4) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点、㊦は評価
<p>1 校歌を歌う。【全体】</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ブルタバの音楽が表現している情景を自分なりに想像し、その理由を考えよう。</p> </div> <p>3 作曲家「ベドルジバ・スメタナ」と楽曲「ブルタバ」について知る。【全体】</p> <p>4 情景を想像して聴く。【個人】 標題に関連した写真を選び、なぜ写真を選択したか理由をワークシートに記入する。</p> <p>A ブルタバの2つの源流 B 森の狩猟 C 農民の結婚式 D 月の光、水の精の踊り E 聖ヨハネの急流 F 幅広く流れるブルタバ G ビンシェフラトの動機</p> <p>5 小グループをつくり、自分自身の感じ方を他者に伝える。【グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色が明るく、お祝いをしている。 ・弾むようなリズムから楽しく踊っている。 ・速さがゆっくりで、きらきらしたような場面が想像できる。 ・とても強弱が強く、激しい雰囲気がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>音楽の諸要素を一つとっても、情景のイメージの仕方は人によって変わってくることに気づく。</p> </div> <p>6 次時の学習内容を知る。【全体】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢に注意し、のびのびと歌えるように助言する。 ・ベドルジバ・スメタナはチェコを代表する作曲家であること、「ブルタバ」がブルタバ川の流れや、人々の生活の様子がオーケストラで表情豊かに描かれていることを確認する。 ・B・C・D・Eの標題の音楽について、ランダムに聴く。 ・「ブルタバ」の標題による各場面を聴き、曲にあった写真を個人で選択する。また、情景が音楽で表現されていることを感じ取り、音楽の曲想にあう情景を考えながら聴くよう助言する。 ・根拠をもって理由が書けるよう、音色・旋律・強弱・速度など、ポイントとなる要素を伝える。 ・楽器の音色、旋律、強弱、速度のそれぞれの要素に着目しながら聴き、どのような要素の特徴から写真を選択したかをワークシートに書かせる。 ・答えを当てるための活動ではなく、音楽からどのような情景をイメージできたかが大切であることを伝える。 ㊦ 標題音楽の多様な音表現に興味をもち、情景をイメージしながら意欲的に聴こうとしている。(観察) ㊦ 音楽から表現されている情景を、自分なりに想像し、根拠をもって批評することができる。(ワークシート) ・相手の感じ方については肯定的にとらえるよう、聞いている人は必ず「なるほど」と言うよう助言する。 ・次回は同じ写真を選んだ人でグループをつくり、意見交換をすることを伝える。

ブルタバ(モルダウ)
～連作交響詩「我が祖国」から～①

3年 組 番 氏名

○各場面の特徴を音楽から想像し、言葉で表そう。



○情景を想像するための音楽的手段

音色…活躍している楽器の音の高さと、その音色は
速度…どんな速さか。
旋律…音の動きや長さ、音域など
強弱…音量とその変化

○どんな雰囲気や情景に聞こえるか？

・「ザーザー」「カラカラ」などの擬音
・「あたたかい」「なめらか」などの形容詞
・音楽を色であらわしたり、透明度であらわすと？

以上のことをヒントとして…

ブルタバ(モルダウ)
～連作交響詩「我が祖国」から～③

3年 組 番 氏名

作曲者 ベドルジバ・スメタナ 出身国 チェコ

○「B」の標題「森の狩猟」について同じ演奏を選んだ人と意見を交換しよう。
・意見交換の仕方。

1 司会者を決める。 2 記録者を決める。 3 発表者を決める。

- ・自分が選んだ理由を述べる。
- ・同じ演奏を選んだ人でも、理由は人それぞれ違うのだから、相手の意見を聞き、メモをとる。その際「なるほど～！」と言うことで共感する姿勢を見せる。
- ・特に共感できることは下記の空欄に書き込む。
- ・発表者は自分のグループででた意見を発表する。

・他の人の考え

・他の人の理由を聴いて特に共感できたことを書こう。

・発表内容（私たちのグループでは・・・～な意見がでました。その理由は・・・）

鑑賞の記録

ブルタバ(モルダウ)

ベドルジバ・スメタナ 作曲

年 組 番 名前

- ・出身国 チェコ
- ・演奏形態 管弦楽(オーケストラ)

情景が音楽によってどのように変化しているか、各場面の移り変わりを下記の事柄を手かりにして、自分なりにまとめてみよう。また、スメタナがこの曲に込めた思いを自分なりに考えてみよう。
(この曲を知らない人に紹介をするつもりで)

※情景を思う浮かべるための手がかりとなる事項

- ・曲の速さ・使われている楽器の音の高さ・メロディーや伴奏の曲のリズム・曲の強弱
- ・曲の雰囲気(明るい? 暗い? 激しい? 優しい? などなど)

Blank area for recording observations and impressions, featuring a large dashed-line box and a smaller solid-line box on the right side.